

2021年度「なごや環境大学」実行委員会 総会 議事録

日 時：2021年5月24日（月）16：30～19：00

場 所：名古屋市環境学習センターエコパルなごやバーチャルスタジオ
及びオンライン開催

出席者 総出席者	38名	（委任状含む）
・委員長	1名	
・学長	1名	
・実行委員	19名	（出席委員12名、委任状7名）
・監事	1名	
・参与	8名	
・チーム員	2名	
・アドバイザーボード	6名	
・事務局	7名	
・傍聴者	2名	

1 はじめに

司会挨拶より総会開始

事務局の司会で総会開始。当総会は Web 会議を含むことに言及。

(1) 挨拶

伊東委員長挨拶

名古屋市副市長の伊東でございます。実行委員会の委員長として、一言ご挨拶申し上げます。本日は、ご多忙の中、なごや環境大学実行委員会総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃は、なごや環境大学の運営並びに名古屋市の環境行政にご理解とご協力を賜わり、重ねてお礼申し上げます。

さて、なごや環境大学は、「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり、人の輪づくり」を目的として2005年に開学しました。現在ではこうした「人のつながり」を築く取り組みの先進的事例として、全国的に評価されるようになりました。これもひとえに、なごや環境大学を思う皆様方のご尽力の賜物でございます。心より感謝申し上げます。

本日の総会では、なごや環境大学の昨年度の成果をご報告し、今年度の事業計画等についてご審議いただきたいと存じます。

昨年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響が各方面に及び、このなごや環境大学の活動も例外ではございませんでした。しかし、一方で新たにオンラインでの開催を取り入れるなど、手探りではあるものの、新たな取り組みを進めているところでございます。特に、主催事業として実施した全10回のSDGs オンラインセミナーや、連携協定を結んでいる愛知学院大学と連携した、ジャーナリストの池上彰さんを講師に迎えたシンポジウムなどでは、全国から申し込みがあり、私どもの取り組みを広く発信することができました。まだまだ先の見えない状況ではありますが、なごや環境大学はこれまで培った「人のつながり」を強みとして、これからも行

動する人の輪を、さらに大きくするような取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、皆様から忌憚のないご意見やご提案をいただければと思います。

今後とも、皆様方の格別のお力添えを賜りますようお願いいたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。

涌井学長挨拶

なごや環境大学の書き物にも掲出していますが、COVID-19 を歴史的に俯瞰的に見ますと、これから非常に大きな社会的大変容が起きるといった感じがしています。

パンデミックは、例えば中世が近世に移るときにモンゴル軍が持ち込んだペストにより中世の教会支配が終焉してルネサンスが起きるといった歴史があり、近世が近代に移るときも大航海時代を経てアメリカの先住民の9割がヨーロッパ人が持ち込んだ感染症で亡くなり、同時にブーメラン現象でコレラがはびこって結果として下水道の整備を含めた都市計画が始まるという状況であったと思います。

現在、75億の人間がCOVID-19のパンデミック下で大変な恐怖の記憶を共有しています。これは必ず我々自身の行動変容に加えて、社会経済に大きな勢いで社会大変容—トランスフォーマティブ・チェンジ—を起こすだろうと考えています。

環境の側面だけで申し上げれば、COVID-19以前からトランスフォーマティブ・チェンジを起こさなければいけないと言われてきたのがここへきて急速に加速をするのではないだろうかと考えています。

そうした中、大学も行き詰まりを見せていて、私のところにも、なごや環境大学が軸になって、例えば中部圏の広域のSDGsのプラットフォーム—現在名古屋大学と中部大学が事務局をしている—を再編成する意味で協力をしてもらえないだろうか、愛知学院自身が事務局に名乗りを上げるのも構わないということも言っている状況です。

様々なSDGsを具体的にどうするかということについて、全国にも着目されているわけですから、どういう形で名古屋市民を含めて環境に目覚めた教育や気づきを、我々自身が提案し続けられるかどうかということは非常に重要な意義があると思います。

本日はお忙しい中、皆様方にたくさん集まっていただき、また一部は私も恐縮でございますが緊急事態宣言ということでウェブで参画させていただいているご無礼をお許しいただきながら、しっかりした議論をさせていただけたらと思います。

(2) 実行委員等の異動について

参与の異動・・・「参考資料P.1 2021年度「なごや環境大学」実行委員会名簿」

資料に基づき事務局から説明。人事異動により新たに就任された方は次のとおり。

- ・経済産業省中部経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課長 吉岡 和彦 様
- ・名古屋商工会議所 産業振興部長 佐藤 航太 様
- ・一般社団法人 中部経済連合会 防災・環境部長 山口 剛史 様
- ・国土交通省中部運輸局 交通政策部 計画調整官 後藤 英丸 様
- ・国土交通省中部地方整備局 企画部 環境調整官 今井 清隆 様
- ・環境省中部地方環境事務所 環境対策課長 曾山 信雄 様

2 議事

本日は定数 21 名の委員のうち委任状含め 20 名の実行委員に出席をいただき、3 分の 2 以上の出席であるので、規約第 11 条第 2 項に基づき本日の総会は有効に成立している。また、本日の議長は規約に基づき伊東委員長が進行する。

第 1 号議案：「実行委員及び学長の選任（案）」

実行委員の選任・・・「議案集 P.1」

実行委員は「なごや環境大学」実行委員会規約第 4 条第 3 項により、「総会の承認を経て委員長が選任する。」となっている。

候補者のうち、涌井史郎様、山口ゆずみ様、鶴飼宏成様、九里徳泰様、河田誠一様においては、就任から 2 年が経ち、本日の総会で任期満了となるため、実行委員再任の候補者となる。伊藤和子様、浅井秀子様、相原邑子様、小坂信之様は新たに地域団体などの代表に就任されたことによる新たな実行委員の候補者となる。鈴木慎太郎様はチームに所属しており、実行委員、チーム員からの推薦により新たな実行委員の候補者となる。安藤稔様、市橋和宜様は市役所の人事異動に伴う、新たな実行委員の候補者となる。委員の候補者の方々については、本人の同意をいただいている。

質問及び回答、意見交換等

なし

拍手で承認される。

学長の選任・・・「議案集 P.1」

学長は「なごや環境大学」実行委員会規約第 4 条第 4 項により、「総会の承認を経て委員のうちから委員長が選任する。」となっている。

事務局から推薦する学長候補者として、涌井史郎様のお名前を挙げさせていただいている。

質問及び回答、意見交換等

なし

拍手で承認される。

今回新たに実行委員に選任された方を代表して、新たにチーム員から実行委員に選任された鈴木慎太郎委員からご挨拶いただいた。

鈴木委員

これまでチーム員ということで関わらせていただいたのですが、その間も SDGs と ESD を目にしたり耳にしたりする機会が増えて、なごや環境大学への期待や役割が大きくなっているかと思えます。そのような時期に実行委員として関わらせていただくということで感謝申し上げます。一方で、まだ右も左もわかりませんので皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

代表幹事について・・・資料なし

代表幹事について、代表幹事の任期の2年が経過したため、大鹿様の代表幹事の任期満了になる。代表幹事は「なごや環境大学」実行委員会規約第13条に基づき、学長が指名することとなっているが、今後の環境大学の進め方を検討するにあたり、現在どのチームにも属さないという代表幹事の課題も見えてきているため、当面は空席とする。今後、「なごや環境大学の進め方検討会議」により、12月頃開催する全体会議を目途に検討を進める。

第2号議案：「2020年度事業報告（案）」

2020年度事業報告（案）・・・「議案集 P.2～13」、「2020年度活動報告書」

議案集に沿った形で2020年度の活動方針と重点取り組み事項に基づくそれぞれの総括報告が行われた。以下の順に、報告が行われた。

大鹿委員（全体総括）

鵜飼委員（企画チーム）

アドバイザーボード 松本様

配布資料「SDGsにむけての協働型のしくみづくり自治体ミーティング」

杉野委員（人の輪・広報チーム）

配布資料「共育ゼミナール報告書」

事務局 小出次長（ユースクラブ）

配布資料「昭和区プロジェクト」

事務局 小出次長（森林プロジェクト）

千頭先生（SDGsまちづくり未来創造クラブ）

大鹿委員（SDGs人づくり未来創造クラブ）

杉野委員（森林プロジェクト）

第3号議案：2020年度決算（案）

2020年度決算（案）・・・「議案集 P.14～20」

議案集に基づき事務局から説明。その後事務局から説明のあった決算書につき2名の監事による監査が行われていることを案内。監査結果について、監事を代表して名和監事から「監査の結果、適正に執行管理している」旨報告された。

質問及び回答、意見交換等

なし

第2号議案、第3号議案とも拍手で承認される。

第4号議案：2021年度事業計画（案）

2021年度全体方針、各チーム方針（案）・・・「議案集 P.21～28」

議案集に沿った形で2021年度の活動方針と重点取り組み事項に基づくそれぞれの事業計画案の説明が行われた。以下の順に、報告が行われた。

大鹿委員（全体総括）
鵜飼委員（企画チーム）
杉野委員（人の輪・広報チーム）
事務局 小出次長（ユースクラブ）
事務局 小出次長（森林プロジェクト）
事務局 須網推進監（SDGs 未来創造クラブ）

第5号議案：2020年度予算（案） 2020年度予算（案）・・・「議案集 P.30」

議案集に基づき事務局から説明。

質問及び回答、意見交換等

なし

第4号議案、第5号起案が拍手で承認される。

議決事項ここまで。

事務局からの報告事項

『「なごや環境大学の今後の進め方」に関する検討会議について」・・・「参考資料 P.6、7」

参考資料に基づき事務局 市橋事務局長から説明。

・「参考資料 P.3 2021年度「なごや環境大学」実行体制 総会以降（案）」破線枠内の体制となる

質問

なし

その他の発言

発言をいただけていない方のうち2名から、一言感想などを話していただいた。

香坂参与

皆様お疲れさまでした。ご存じのように秋に中国の昆明で COP15 生物多様性の会議がございます。また、G7でもコミュニティが発表されましたが、涌井学長が色々力を入れていただいているグリーンインフラや ECO-DR という概念も入っています。そういった動きを今後も環境大学の中でも議論に取り入れて実施していただければと思います。環境省も、生物多様性戦略について研究会から中央環境審議会の方にあげていくようなスケジュールになっています。以上です。

相原委員

初めてこの会議に参加させていただいたものですから、難しいことばかりで少しよくわからないところもありましたが、次の機会にもう少し勉強させていただいて、お話ができるようにしたいと思います。よろしくお願いします。

退任する方の紹介、お言葉

今回の総会をもって退任する平石晶代委員と伊東恵美子委員長から、ご挨拶をいただいた。

平石委員

チーム員から数えて9年とご紹介いただきましたが、開学後すぐに環境事業をやるデザイン会社の者として色んなことに関わらせていただいて、そこから広報のチーム員にお声がけいただいて、ユースチームのリーダー、現企画チームというように実質12～13年ぐらい環境大学に関わらせていただいています。

この間、様々な人と出会って色々な環境活動にご一緒させていただきました。後ろにお座りのアドバイザーの方々創成期の戦友だと思っているのですが一と共に色々やらせていただいたと思っています。

中でも2008年のモリコロ基金を活用して、千頭先生にリーダーをしていただいたプロジェクト、富山県のライトレールを見に行ったり、京都の交通体系を見に行ったり、先進視察を経て、自転車道の社会実験をやったり、都市内交通や緑やエネルギーについて考えることを一年通してやったこと、2010年のCOP10では名古屋市さんと環境大学との企画ということで事務局の方、行政の方、NPO、デザイン会社と共に内容を検討して、今の働き方改革では考えられないような毎晩12時ぐらいまで会議をして形作っていったという、共同の形というものを若い頃に体験させていただきました。

それからSNP—サステナブルなごやプロモーション—というデザイン系の学生を中心とした団体を立ち上げて、約6年ぐらい有松の環境ツアーをやったり、名古屋の環境マップを作ったり、ESD ユネスコ世界会議では植木鉢ワークショップをやらせていただいたりしました。大学の先生でもなく何者でもなかったのですが、なごや環境大学として、学生に集まってやってもらったということで、これが母体となって、現在も続いている環境デーなごやでの「WATSUKAMONO Village」につながったと思っています。

環境大学というのは全国でも珍しい誇らしい仕組みだと思っています。私自身が肩書のない時分から関わらせていただいて、少しずつですけど環境のことを学んで、活動を通じて成長させていただいたと思っています。だからこそ、環境大学のプロパーのひとりだと思っているので、ぜひまだ色々知らない学生の子や若い子などに入らせていただいて成長していってもらえるといいなと思っています。実行委員としては今日で卒業させていただきますが、今後も環境大学に関わっていきたくと思っていますし、個人的にも持続可能な社会に向けて色々やっていきたくと思っています。もう12～13年になるので、ここにおみえにならない歴代の事務局の方々はじめ実行委員の皆様大変良くしていただいたと思います。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

伊東副市長

私も今月で副市長の任期満了ということで退任をさせていただきます。昨年4月に環境局の担当をさせていただきました、報告を聞いていますと色々な体験等をオンラインだけでなくリアルのところもあったということで、本当は私も参加をさせていただくと良かったのですが、新型コロナウイルス感染症対策の方の担当をしているものですから、緊急事態宣言が発出されるとこのポジションにいるとただでさえ雇ったらどうだということがあるので、なかなか外に出

たりということもできませんでした。マルシェにも関心があつて、色々と皆様方ともっと親交を深めることもできたと思うのですが、何分そういうことでできなくて、去年の総会と今年の総会の進行をして終わったようなかんじがいたします。

私も41年市役所の方に務めておりましたので、少しゆっくりしたいなと思っておりますが、身近なところで皆様のご活動があるということでございますので、縁がございましたらそちらの方でも参加させていただくことがあればと思っております。

後任は、杉野みどりという子ども青少年局長で、彼女はお子さんを巣立せた経験もございまして、きっと違った意味で皆様方と関わることができると思っておりますので、涌井先生はじめ、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。どうもありがとうございました。

終わりに

涌井学長より

長年本学に関わっていただいた平石委員に対して心から御礼申し上げたいと思います。今後ともご協力をいただけるということでよろしくお願ひします。伊東委員長、本当にご苦労様でございました。大変深い関心を寄せていただいて、私が15年を迎えた環境大学の将来というのは大きく転換すべきではないかと申し上げたところ、「あり方委員会」を作っていただいて、可能性がでてきたことに心から感謝申し上げます。今後は、私を含めて背後霊というのが大事でございますので、そういう立場でご協力いただけたらと思っておりますのでどうぞよろしくお願ひします。

今日、説明を聞いて痛感したことの一つは、実行委員のそれぞれのチームのみなさんが若返った、柔軟な対応の仕方で、環境大学の意味は不変だが環境大学の存在意義をどのように共有させるのかということについて、様々な工夫を講じていただいているということをお大変嬉しく思っています。情報を共有していきながら、SDGs というような共通の目標に向かってどのように進んでいくのかということに対して、色々な方面からのアイデアと活動を積み上げていただいていることに対して大変感銘を受けました。

冒頭に申し上げたように、ここで社会的な大変容が起きようとしています。考えてみますと、15年前に愛地球博で、10年前の生物多様性条約締約国会議で、5年ごとに名古屋は環境の問題について進化を遂げてきたわけですから、それが、なごや環境大学という非常にユニークな教育のプラットフォームに息を絶えず今日まで続いてきたということは極めて意義のあることだと思います。

世の中は今までマスー大衆—を対象にした物の考え方から、群衆一個一の時代に移っています。それぞれが大きな持続的な未来というものにどう取り組んでいくのかということが、結果として自分自身の問題につながっていく一連の流れの中で、市民という一つの階層が、何にも属さない形で同じ目的を共有していくということこそまさに SDGs の本質ではないかと思っております。

2020年は愛知目標の大きなエンディングで、コロナの問題でいまだに国連生物多様性の10年の決着がついていないという状況がありますが、次のステージにどう移っていくのかということが非常に問われていることを改めて実感しました。

香坂先生もずっとご出席いただいて、国際的にもこうした問題についてリーダーとして活躍しておられる方が環境大学の中に参画いただいていることも大変嬉しいと思っておりますし、千頭先生はじめアドバイザリーボードとして、昔の環境大学の中核におられた方々がいまだに様々

な場面でご協力をいただいているということについて大変良いバランスになってきたということで喜んでるところです。これからもよろしくお願いします。

12月には新たな環境大学の方向が力強く打ち出されるということを期待してあいさつにかえます。

閉 会

議長からすべての議事が終了したことが宣言され、事務局から総会の予定がすべて終了したことを伝え閉会。